

リソビュー システムワークステーション

リソビュー 単回使用デジタルフレキシブルウレテロレノスコープ

簡易取扱説明書

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名前	2
セットアップの手順	5
カートの組立て	
LithoVue™の接続	
動作確認	
システムワークステーションのシャットダウン	
トラブルシューティング	26
お問い合わせ先	30



基本的な操作のみを記載しています。
添付文書を必ずあわせてお読みください。



注意

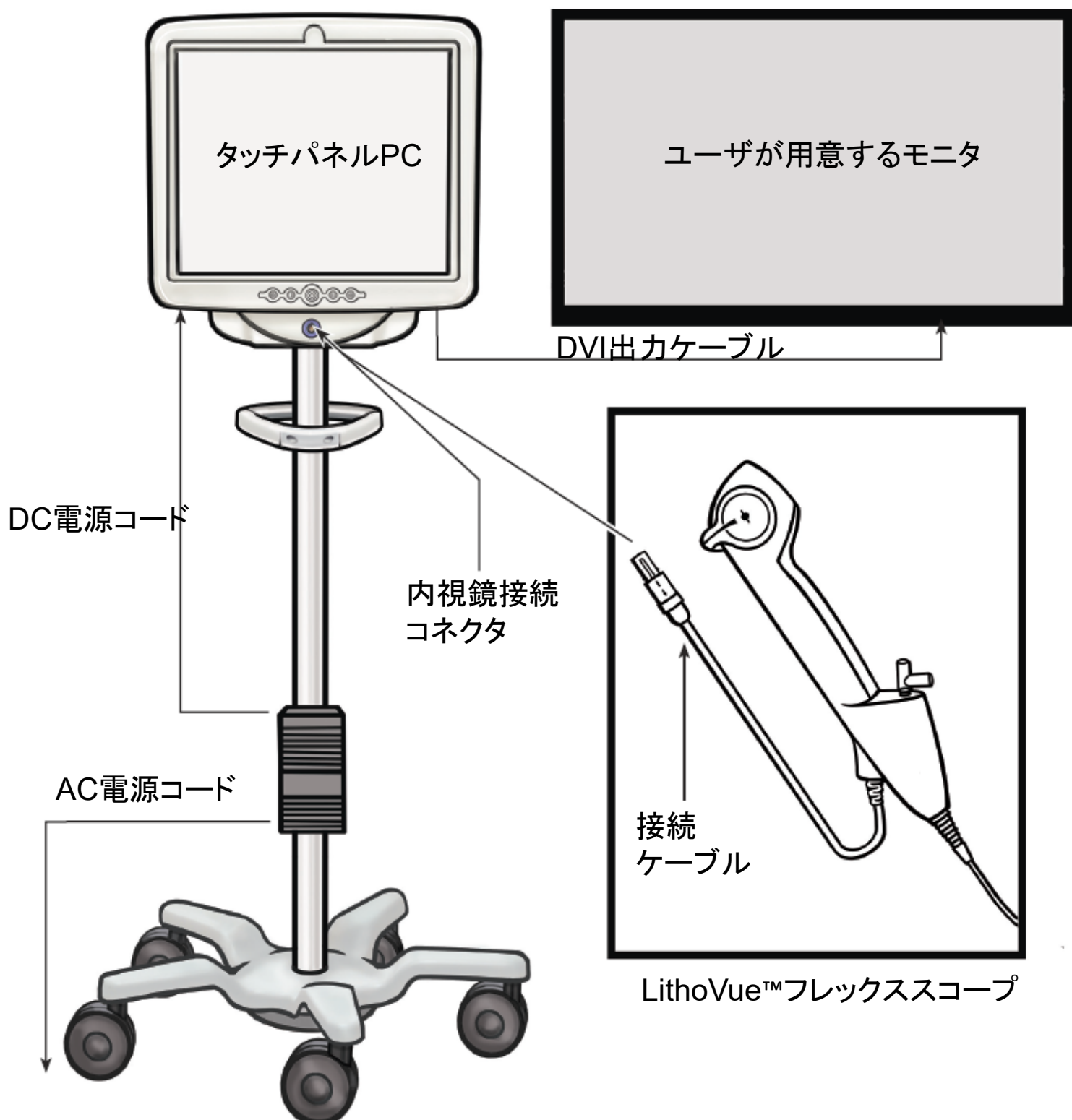
LithoVue™フレックススコープは単回使用機器である。再使用は禁止されている。

LithoVueフレックススコープには使用時間に制限がある。規定の時間を超過し、処置に追加時間が必要な場合は新しい製品に取り換える必要がある。

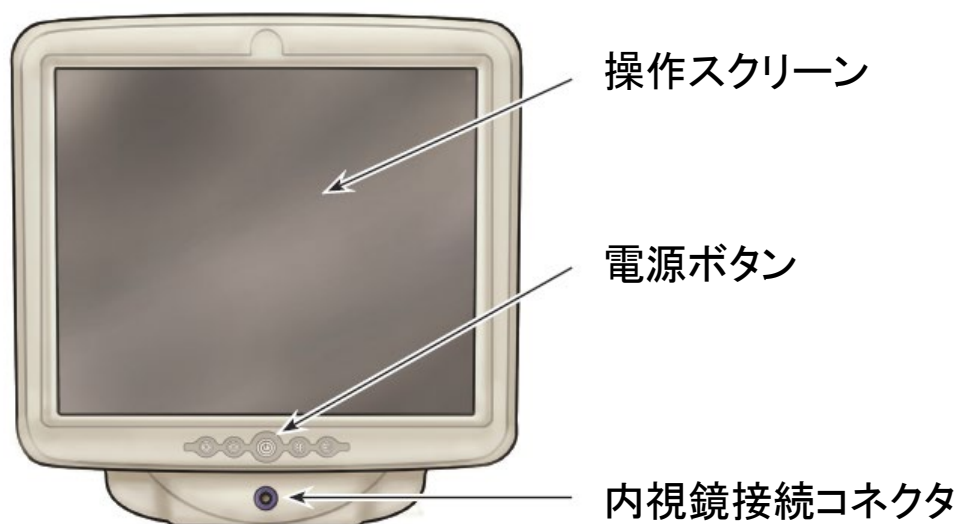
LithoVueフレックススコープは単回使用機器であり、修理が可能な部品はない。損傷した、または動作しないLithoVueフレックススコープを修理してはいけない。損傷が認められる、または疑われる場合は使用を中止すること。

LithoVueフレックススコープのハンドルを分解しないこと。防水シールが損傷して感電することがある。

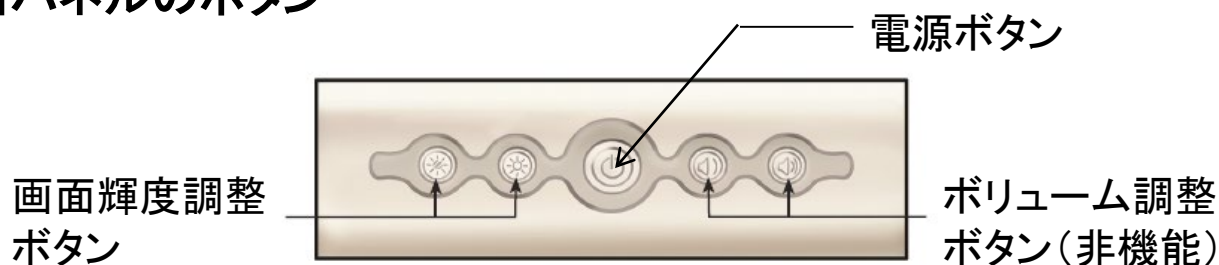
□ システムワークステーション



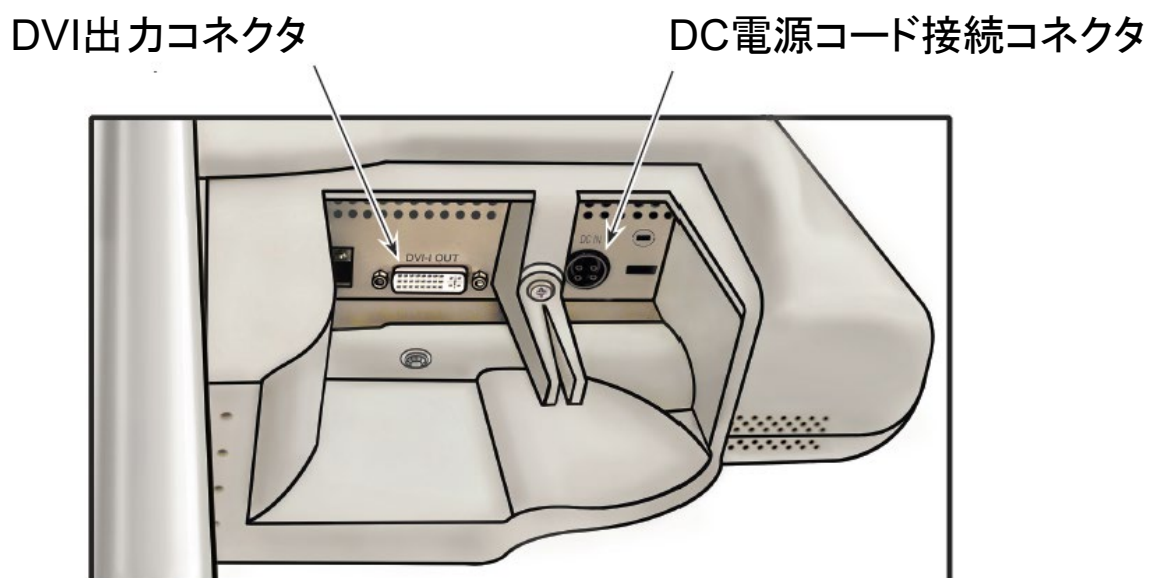
□ システムワークステーションの前面パネルの機能部



□ 前面パネルのボタン



□ システムワークステーションの背面パネルの機能部



□ カートの機能部



セットアップ／シャットダウンは、以下の手順で行ってください

1 カートの組立て（初回納品時）

- カートベースとカートポストの組立て
- カートポストへのタッチパネルPC取付け板の取付け
- カートハンドルの取付け
- 電源アダプタブラケットの取付け
- カートへのタッチパネルPC・電源アダプタの取付け
- タッチパネルPCの高さと傾斜の調整
- 設置の確認

2 LithoVue™の接続

- LithoVueフレックススコープの接続

3 動作確認

- 画面操作方法
- システムワークステーションのメッセージ画面

4 システムワークステーションのシャットダウン

- LithoVueフレックススコープの取り外し
- ワークステーションシャットダウン

1 カートの組立て

カートベースとカートポストの組立て

□ このパートで使用するパーツと部品



カートポスト



キャスタ付き
カートベース



六角ボルト
平ワッシャ
スプリングワッシャ



ソケットレンチ

1

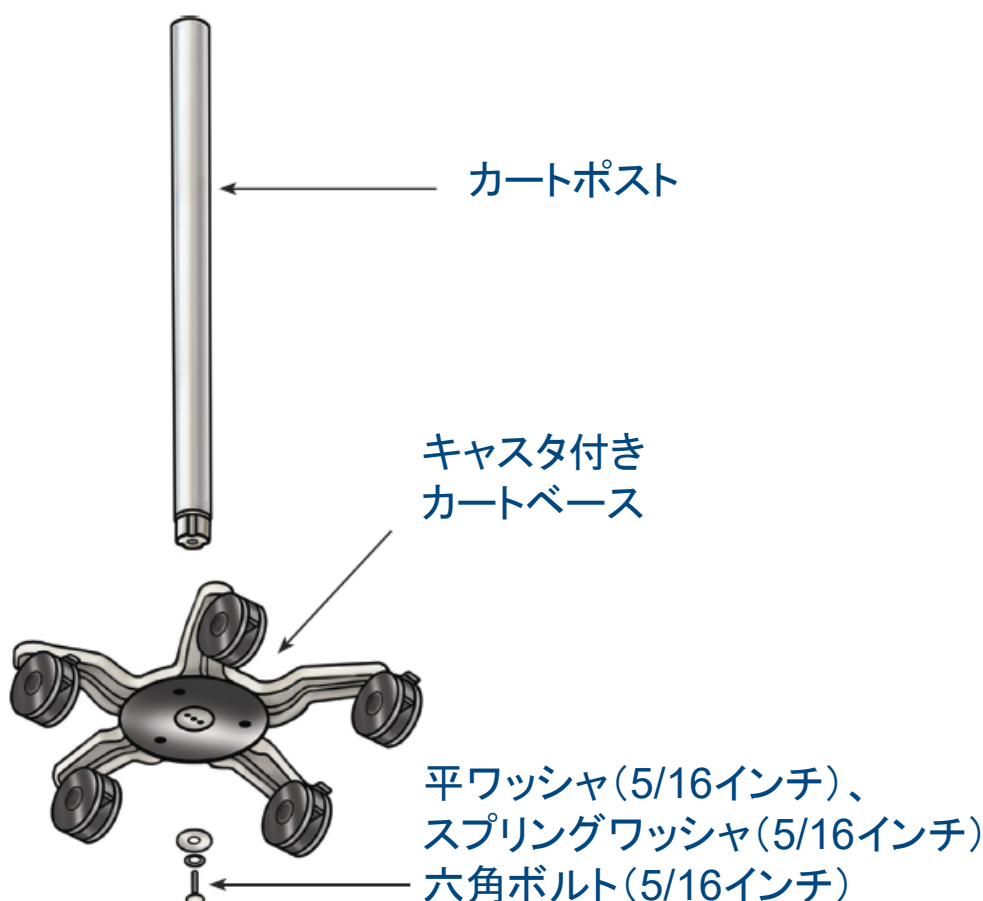


カートベースを立て、カートポストをカートベースの中央くぼみに差し込む。

2



カートベースの底面側から、ソケットレンチで固定をする。



1 本体の組立て

「カートポスト」への「タッチパネルPC取付け板」取付け

□ このパートで使用するパーツと部品



タッチパネルPC
取付け板



プラス平ネジ 3個
(10-32 x 9/16インチ)



レキサン樹脂カバー



プラスドライバ

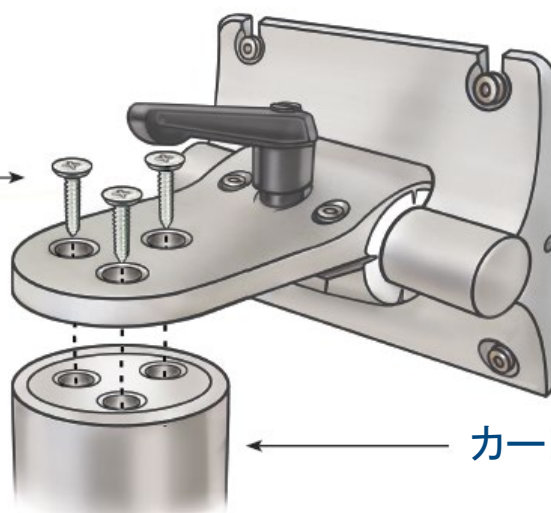
1



カートポスト上部およびタッチパネルPC取付け板には、それぞれ3つのネジ穴が開いている。

接続は、一方向にのみ接続可能なように設計されているので、方向を確認した上で、ドライバで固定をする。

ネジ3個 (No. 10-32 x 9/16インチ)



タッチパネルPC
取付け板

カートポストの上部

2



必要に応じて、粘着性のあるレキサン樹脂カバーで取付け部の上面を覆うこと。

1 本体の組立て

カートハンドルの取付け

□ このパートで使用するパーツと部品



カートハンドル



プラスドライバ

1

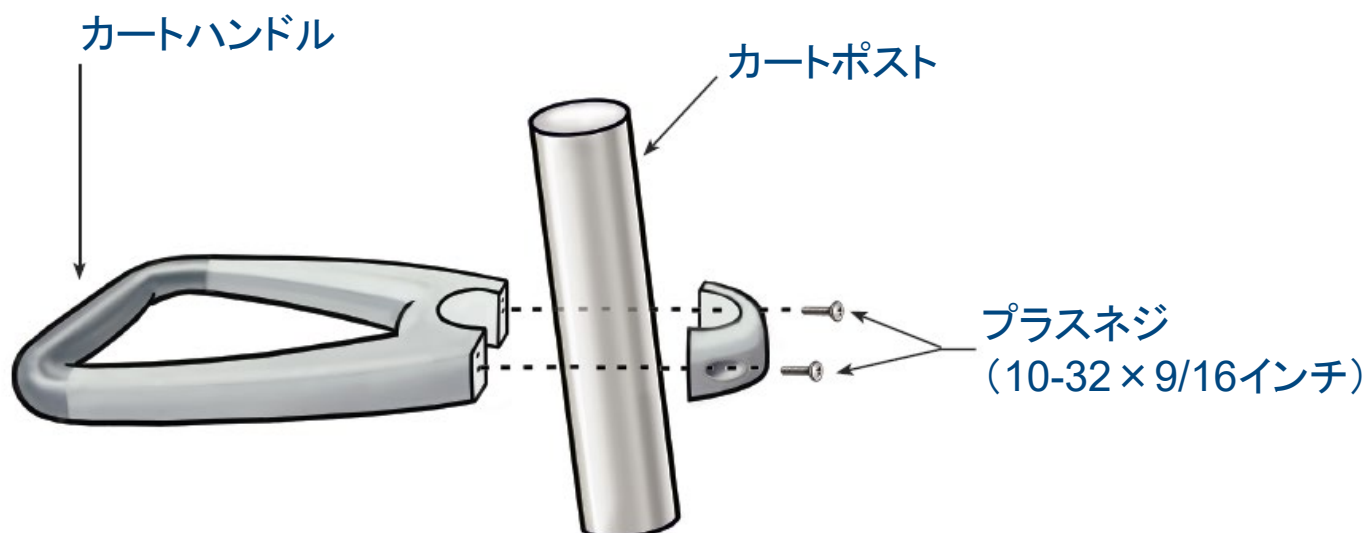


前にカートハンドルに取り付けられている2個のプラスネジをプラスドライバで外し、カートハンドルを2つに分解する。



2

カートラベルの下でカートポストの周囲を挟むようにして、カートハンドルの2つの部品を取り付ける。

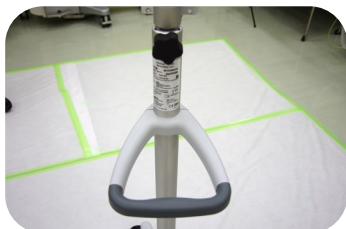


カートハンドルの取付け

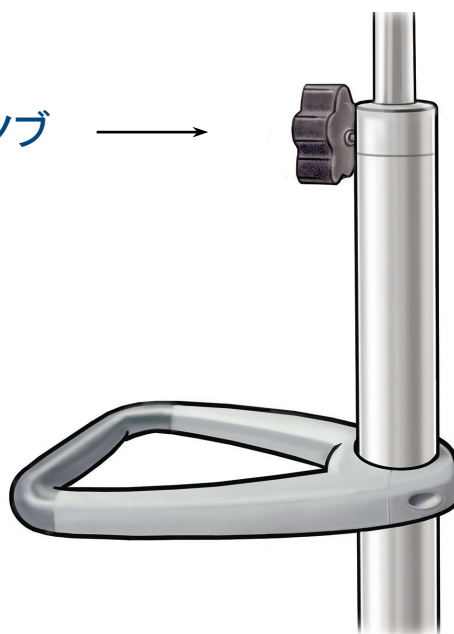
3



2個のネジを差し込み、プラスドライバを使用してハンドルの2つの部品をカートポストの周囲でしっかりと固定する。



高さ調整ノブ →



正しいカートハンドル固定位置



カートハンドルには表と裏があるので、間違えないように注意すること。

ハンドル色が濃くなっているラバーグリップ部分が、カートの高さ調整ノブと同じ方向を向くようにすること。

破損の可能性があるので、ネジを締めすぎないように注意すること。

1 本体の組立て

電源アダプタブラケットの取付け

□ このパートで使用するパーツと部品



コード巻き付け用
フック



電源アダプタ
ブラケット



プラス平ネジ 2個
(10-32 x 9/16インチ)



プラスドライバ

1



キャスタ付きカートベースから約40 cmの位置でカートポストの周囲を挟むようにして、コード巻付け用フックと電源アダプタブラケットのクランプブロックを取り付ける。電源アダプタ用のマジックテープが、前方(パッチパネルPCの取付け方向と同方向)を向くようにする。



タッチパネルPC取付け板

電源アダプタブラケットのマジックテープ

2



2個のプラス平ネジ(10-32 x 9/16インチ)を差し込み、プラスドライバを使用してコード巻付け用フックと電源アダプタブラケットをカートポストにしっかり固定する。



破損の可能性があるので、ネジを締めすぎないように注意すること。

1 本体の組立て

カートへのタッチパネルPC・電源アダプタの取付け

□ このパートで使用するパーツと部品



タッチパネルPC



ネジ 4個
(M4 x 10mm)

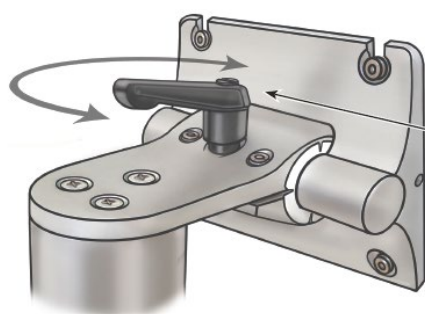


プラスドライバ

1



傾斜調整レバーを緩めて、取付け板がほぼ垂直になるように調整する。



傾斜調整レバー



傾斜調整レバーは、レバーを引っ張り上げることで、レバーの向きを変えることができる。

傾斜調整レバーの向きの変え方



引っ張り上げる



方向を変える

1 本体の組立て

カートへのタッチパネルPC・電源アダプタの取付け(つづき)

2



タッチパネルPCの裏側の取付け穴のうち、最上部から2列目の穴にネジ(M4×10 mm) 2個をプラスドライバで取り付ける。ネジの頭とタッチパネルPCの間の空間を、約6mm残しておく。

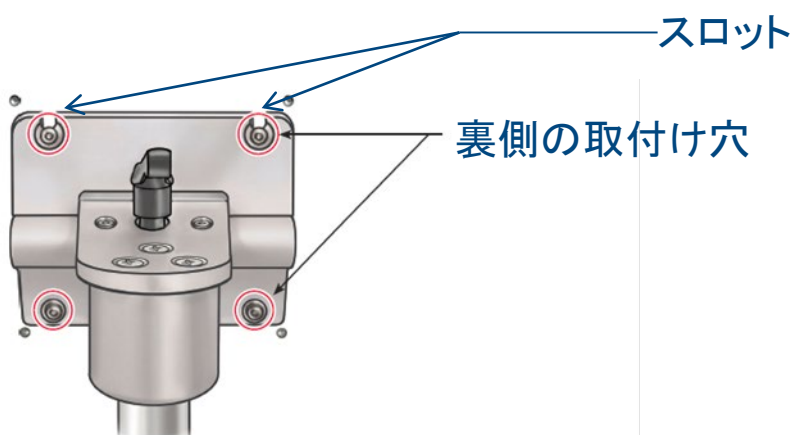


約6mm残しておく。

3



タッチパネルPCを持上げてもらい、取付け板上部の2箇所のスロットの中にタッチパネルPCの2個のネジ(M4×10 mm)をスライドさせる。その位置でタッチパネルPCを保持する。



4



ネジ(M4×10mm)をタッチパネルPC取付け板の下側の2箇所の穴に差し込み、プラスドライバを使用して締める。その後、上側のネジを締めて、タッチパネルPCを固定する。

1 本体の組立て

カートへのタッチパネルPC・電源アダプタの取付け(つづき)

□ このパートで使用するパーツと部品



電源アダプタ



AC電源コード



ナイロン製ケーブルクランプ
平ワッシャ(#8)
プラスネジ(8-32 x 1/4インチ)



プラスドライバ

5



電源アダプタの電源スイッチを下方に向けて、電力変圧器フックの中に取り付け、マジックテープで所定の位置に固定する。

6



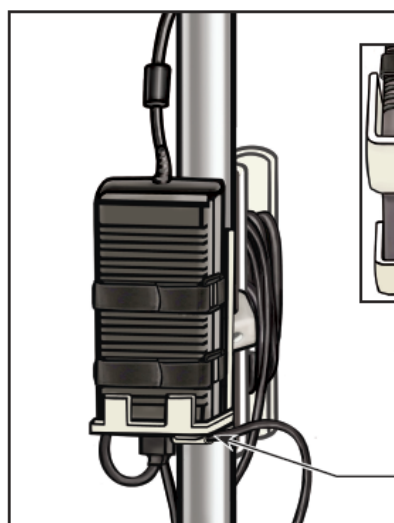
AC電源コードを電源アダプタに取り付ける。ナイロン製ケーブルクランプ(電源コードストreinリリースキットに入っている)で、AC電源コードを保持すること。

7

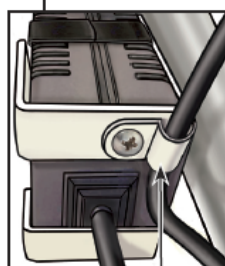


平ワッシャ(#8)とプラスネジ(8-32 x 1/4インチ)(電源コードストreinリリースキットに入っている)を使用して、ナイロン製ケーブルクランプをブラケットの底面に取り付ける。

正面図



フックの底面の拡大図



プラスネジを取り付けたナイロン製
ケーブルクランプ
ストreinリリースキット

電源コードストreinリリースキットの取付け

カートへのタッチパネルPC・電源アダプタの取付け(つづき)

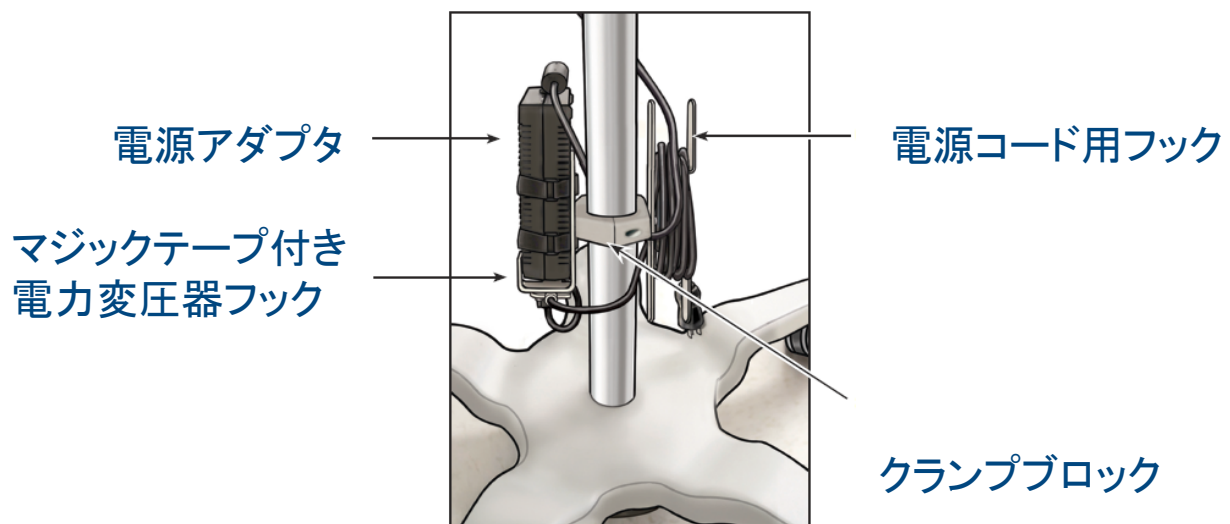
8

コード巻付け用フックに電源コードをまとめる。

9

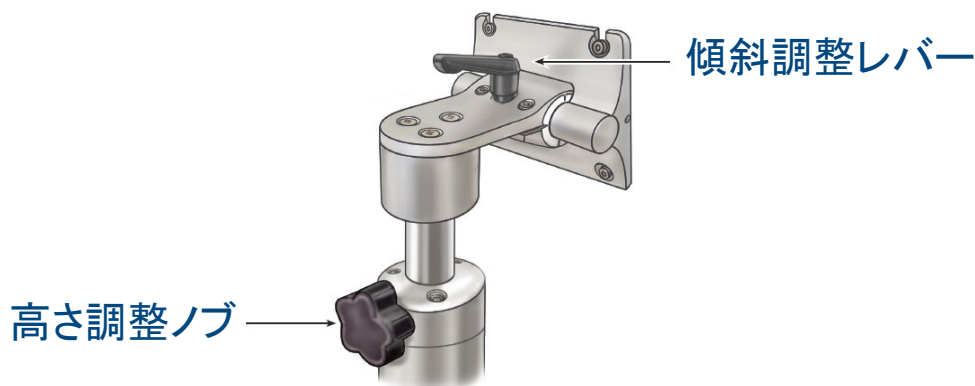


DCプラグをカートポストに沿わせて上方に引き上げ、タッチパネルPCの底面にあるDC電源ソケットに接続する。



タッチパネルPCの高さと傾斜の調整

カートには2つの調整機構があり、高さ調整ノブでタッチパネルPCの高さを調整し、傾斜調整レバーでタッチパネルPCの傾斜を調整できる。



A タッチパネルPCの高さ調整

1. タッチパネルPCの高さを調整するには、タッチパネルPCを保持しながら高さ調整ノブを緩める。タッチパネルPCを希望の位置まで移動する。
2. カートの高さ調整ノブを締める。



タッチパネルPCのカートポストは空気圧駆動式で、ロックが解除されると上方に動く。

高さ調整ノブを回す前に、上方に障害物がないことを確認すること。

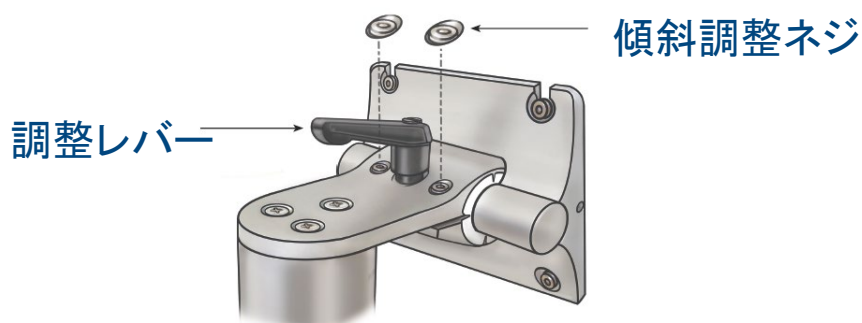
タッチパネルPCの高さと傾斜の調整(つづき)

B タッチパネルPCの傾斜調整

1. タッチパネルPCの傾斜を調整するには、カートの傾斜調整レバーを緩める。
2. 希望の角度まで傾ける。
3. 傾斜調整レバーを締め直す。
4. タッチパネルPCが傾斜位置で維持できない場合は、カートに附属する六角レンチ(9/64インチ(3.5mm))を使用して、傾斜調整ネジを左右均等に締め付ける。



六角レンチ



設置の確認

1



システムワークステーションを病院の電源コンセントに接続して、電源アダプタのスイッチをオンにする。電源アダプタがオンになると、電源アダプタの緑色のLEDが点灯する。



感電の危険を防ぐため、システムワークステーションを病院の電源コンセントに接続する前に、DC電源コードがタッチパネルPCに接続されていることを確認すること。

2



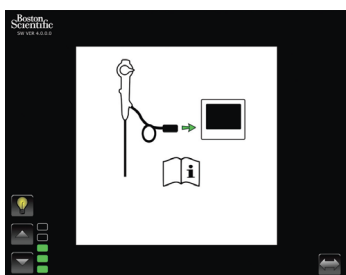
前面パネルの電源ボタンを押して、システムワークステーションの電源をオンにする。

3



タッチパネルPCが立ち上がる。

4



システムワークステーションの画像表示領域に、LithoVue™フレックススコープ未接続メッセージ画面(左図)が表示される。この画像が表示されればシステムワークステーションは正しく機能しており、すぐに使用できる状態にある。

設置の確認(つづき)

必要に応じて外部のDVI適合モニタにライブビデオ画像を表示するか、またはDVI切替器を使用して画像信号を分割することができる。

□ このパートで使用するパーツと部品



DVIケーブル

1

モニタが下記の条件に適合している事を確認する。

- モニタの適合性要件

DVI入力を備え、5:4および16:9のいずれの縦横比においても最低解像度が1280×1024であること。

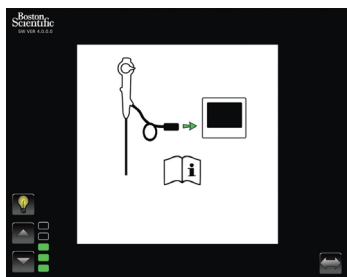
2



タッチパネルPCの底面にあるDVI出力コネクタに接続する。

LithoVueフレックススコープの接続

1



システムワークステーションの電源が入り、モニタにLithoVueフレックススコープ未接続メッセージが表示されていることを確認する。電源の立ち上げは18ページ【設置の確認】を参照すること。

2



LithoVueフレックススコープケーブルを、システムワークステーションの前面パネルにある内視鏡接続コネクタに接続する。

LithoVueフレックススコープは、システムワークステーションの電源をオンにする前に接続できる。この場合、システムはすぐにスコープの初期化を実施してから、ライブ画像を表示する。

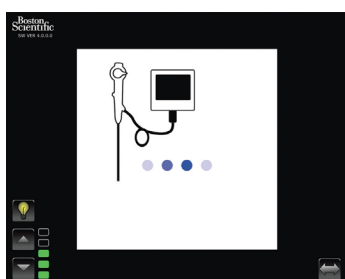


LithoVueフレックススコープケーブルは、内視鏡接続コネクタに簡単に接続できる。

コネクタケーブルのプラグを接続できない場合は、プラグと内視鏡接続コネクタの矢印の位置が揃っていることを確認する。

コネクタケーブルのプラグをケーブルソケットの中へ無理に押し込むと、システムワークステーションが損傷することがある。

3

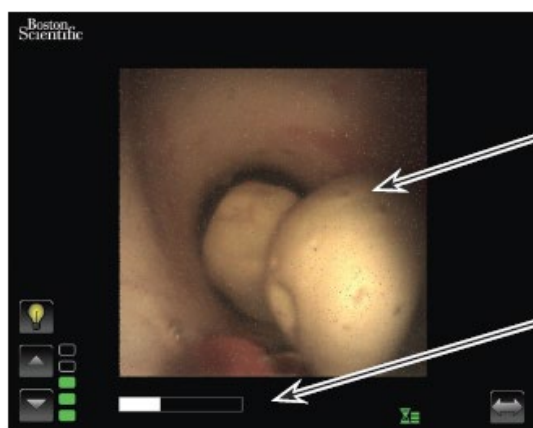


LithoVueフレックススコープが接続されると、システムワークステーションに初期化画面が表示される。

LithoVueフレックススコープの接続

4

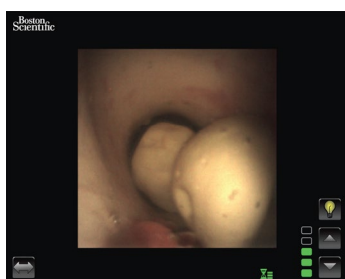
初期化処理が完了すると、システムワークステーションに画像が表示される。また、表示画面の下部にプログレスバーが現れて、システムワークステーションがLithoVueフレックススコープから校正情報をダウンロードしていることが示される。



LithoVueフレックススコープ情報のダウンロードを完了するまで表示されるまでの校正中画像

校正中の白いプログレスバー

5



LithoVueフレックススコープの校正情報のダウンロードが完了すると、システムワークステーションのモニタにライブビデオ画像が表示される。

画面操作方法



● ライトオン／オフボタン

ライトオン／オフボタンを押すたびに、スコープの光源のオンとオフが切り替わる。

● 画像輝度調整ボタン

ライトがオンのときに△ボタンを押すと画像輝度が上がり、▽ボタンを押すと画像輝度が下がる。





● 画像輝度インジケータ

インジケータのバーが点灯することにより、画像輝度が示される。ユーザが画像輝度調整ボタンを使用して調整できる輝度レベルは5段階である。

画面操作方法

● 残り時間インジケータ

システムワークステーションはLithoVue™フレックススコープが接続されている時間をモニタして、ユーザにタッチパネル上でアイコンを用いて表示される。

アイコンの色／状態	緑色のアイコン	黄色のアイコン	オレンジ色のアイコン	オレンジ色のアイコンの点滅
アイコン				
ユーザの対応	処置を進める。 対応は不要である。	処置を進める。 対応は不要である。	処置を進める。 残り時間に注意する必要がある。	スコープの残りの使用時間は30分である。 追加時間が必要な場合は、新しいスコープが必要である。

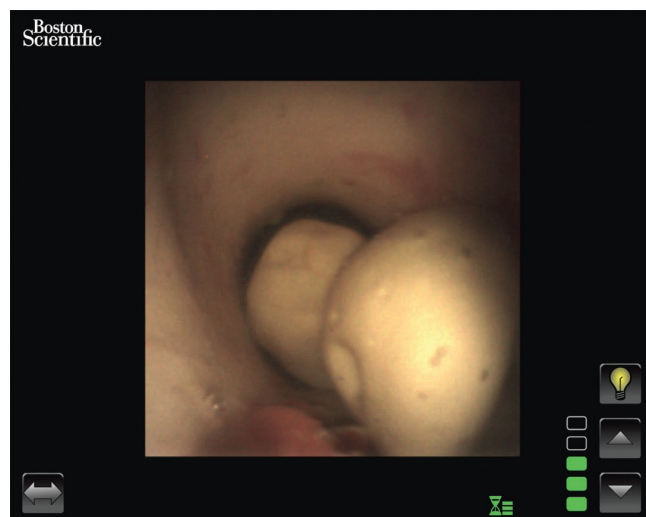
● 操作部切替えボタン

操作部切替えボタンを押すと、ユーザが使いやすいように操作ボタンとインジケータを画面の反対側に移動できる。

次回のシステム起動時には、システムはユーザが最後に選択したいずれかの側に操作ボタンとインジケータを初期設定表示する。



操作部が左側



操作部が右側

システムワークステーションのメッセージ画面

● メッセージ画面

システムの状態または問題を通知するために、5種類のメッセージ画面がメイン画像領域に表示される。

アイコン	意味
	LithoVue™フレックススコープに問題がある。
	LithoVueフレックススコープが接続されていない。
	LithoVueフレックススコープを初期化している。
	システムワークステーションにハードウェア異常がある。
	LithoVueフレックススコープの使用時間が超過している。

システムワークステーションの安全なシャットダウン

処置の終了時または処置中にシステムワークステーションをシャットダウンする場合は、次の手順に従うこと。

A 処置中にシステムワークステーションをシャットダウンする場合

1



システムワークステーションの前面にある「電源」ボタンを押して電源を切る。

2



再度「電源」ボタンを押すとシステムは再起動する。

B 処置の終了時にシステムをシャットダウンする場合

1

LithoVue™フレックススコープを患者から抜去する。

2




システムワークステーションの前面にある「電源」ボタンを押して電源を切り、LithoVueフレックススコープのプラグをシステムワークステーションから外す。



LithoVueフレックススコープのプラグをシステムワークステーションから外すことは、システムワークステーションの電源を切る前でも後でも行うことができる。

ユーザメッセージ	考えられる原因	対策
LithoVue™フレックススコープ未接続アイコンがモニタに表示される。 	フレックススコープケーブルが、システムワークステーションのケーブルソケットに正しくまたは完全に挿入されていない。	LithoVueフレックススコープを取り外す。接続端子に汚れがなく、濡れていないことを確認する。フレックススコープケーブルのプラグと内視鏡接続コネクタの位置合わせが正しいことを確認する。ソケットにプラグが完全に差し込まれていることを確認する。 接続を繰り返してもユーザメッセージが消えない場合は、LithoVueフレックススコープを交換すること。
	LithoVueフレックススコープに破損または欠陥がある。	
	非適合機器を接続している。	不適合機器をLithoVueフレックススコープに交換すること。
LithoVueフレックススコープエラーアイコンがモニタに表示される。 	LithoVueフレックススコープに不具合がある、校正データがない、または校正データが破損している。	LithoVueフレックススコープを取り外す。接続端子に汚れがなく、濡れていないことを確認する。フレックススコープケーブルのプラグと内視鏡接続コネクタの位置合わせが正しいことを確認する。ソケットにプラグが完全に差し込まれていることを確認する。 接続を繰り返してもユーザメッセージが消えない場合は、LithoVueフレックススコープを交換すること。
ハードウェアエラーアイコンがモニタに表示される。 	LithoVueフレックススコープに不具合がある。	LithoVueフレックススコープを取り外す。接続端子に汚れがなく、濡れていないことを確認する。フレックススコープケーブルのプラグと内視鏡接続コネクタの位置合わせが正しいことを確認する。ソケットにプラグが完全に差し込まれていることを確認する。 接続を繰り返してもユーザメッセージが消えない場合は、以下の手順に進むこと。

ユーザメッセージ	考えられる原因	対策
<p>ハードウェアエラーアイコンがモニタに表示される。</p> 	<p>システムワークステーション内部のハードウェアの伝達系が故障している。</p>	<p>システムワークステーションを再起動する。それでも解決しない場合は、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社に連絡して修理を依頼すること。</p>
<p>システムワークステーションの前面パネルの電源ボタンは点灯するが、起動画面が表示されない。</p>	<p>起動に問題がある。</p>	<p>電源ボタンを押し続けてシステムワークステーションをシャットダウンしてから、システムワークステーションを再起動する。問題が再発する場合は、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社に連絡すること。</p>
<p>ビデオ画像が暗すぎる。</p>	<p>光源用ライトがオフになっている。</p>	<p>ライトオン／オフボタンを押して、光源をオンにすること。</p>
	<p>照度設定が低すぎる。</p>	<p>輝度調整ボタンを使用して、輝度を調整する。輝度設定を変更しても問題が解決しない場合は、LithoVue™フレックススコープを交換すること。</p>
	<p>LithoVueフレックススコープの遠位先端部が組織片で覆われている。</p>	<p>遠位先端部を15～70パーセントのアルコールを含む純水と綿棒を使用して拭き、クリーニングする。</p>
<p>ビデオ画像が明るすぎる。</p>	<p>照度設定が高すぎる。</p>	<p>輝度調整ボタンを使用して、輝度を調整する。</p>

ユーザメッセージ	考えられる原因	対策
<p>LithoVue™フレックススコープの使用時間超過アイコンがモニタに表示される。</p> 	<p>LithoVueフレックススコープの使用時間が超過している。</p>	<p>LithoVueフレックススコープを廃棄し、新品と交換すること。</p>
<p>電源ボタンを押してもシステムワークステーションが起動しない。</p>	<p>電源アダプタの電源スイッチがオフになっている。</p>	<p>電源アダプタのスイッチがオンになっていること、および緑色のLEDが点灯していることを確認すること。</p>
	<p>電源アダプタのAC電源コードが電源アダプタに正しく接続されていない、またはAC電源コードが病院の電源コンセントにしっかり接続されていない。</p>	<p>AC電源コードの両端が、電源アダプタと電源コンセントにしっかり接続されていることを確認する。</p>
	<p>電源アダプタのDC電源コードが、タッチパネルPCの背面に奥まで接続されていない。</p>	<p>DC電源コードが、タッチパネルPCのソケットに奥まで接続されていることを確認する。</p>
	<p>AC電源ソケットに電源が供給されていない。</p>	<p>病院の電源ソケットを点検すること。</p>
	<p>電源アダプタに欠陥がある。</p>	<p>ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社に連絡すること。</p>

ユーザメッセージ	考えられる原因	対策
ビデオ画質が低い。	システムワークステーションと他の医用電気機器との距離が近すぎる。	システムワークステーションの設置場所が、セクション9の「電磁両立性(EMC)の要求事項」に記載されている電磁両立性の要求事項に適合していることを確認する。 他の医用電気機器をシャットダウンして、どの機器に原因があるかを特定する。 他の医用電気機器の取扱説明書に従って、機器を正しく配置すること。
	画像処理に問題がある。	電源ボタンを押し続けてシステムワークステーションをシャットダウンしてから、システムワークステーションを再起動する。 問題が再発する場合は、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社に連絡すること。
	LithoVue™フレックススコープの遠位先端部が組織片で覆われている。	遠位先端部を15～70パーセントのアルコールを含む純水と綿棒を使用して拭き、クリーニングする。 洗浄液を点検し、洗浄液の流量または圧力を増加させる。ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社のSAPSなどの圧力調整器を、洗浄液の圧力調整に使用できる。
補助の表示に問題がある(ビデオ画質が低い、または表示されない)。	外部ビデオモニタまたはDVI切替器が、LithoVueのDVI出力信号と適合性がない、または正しく設定されていない。	すべてのケーブル配線を点検し、しっかり接続されていることを確認する。 セクション3.4の「システムワークステーション機器と治療デバイスの適合性」に記載されている適合性要件を確認する。 外部モニタのユーザガイドを確認し、モニタをDVIビデオ規格に設定する。



エラーが解消されない場合、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 営業担当者または、販売特約店 担当者様まで、お問い合わせください。

不具合や修理、緊急時は、

**ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 営業担当者
または、販売特約店 担当者様まで、お問い合わせ下さい。**

販売名: リソビュー システムワークステーション
製造販売届出番号: 13B1X00043000065

販売名: リソビュー 単回使用デジタルフレキシブルウレテロレノスコープ
医療機器認証番号: 228ABBZX00104000

製造販売業者: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社